

い な づ ま

題字 小 寺 寛 一

発行所 函館地方電気工事協同組合
 編集 総 務 部
 住 所 函館市日乃出町7番22号
 印刷所 有限会社 畠山印刷



復元された開陽丸―江差港

就任ご挨拶

理事長 大倉 伸 夫



平成二年度通常総代会において理事に選出され、その後の役員会において、引き続き理事長に就任致しました。

吉田、佐藤副理事長はじめ役員の皆様ともども、よろしく願っています。

ふりかえってみますと、早いもので昭和四十五年に四代理事長に就任してから十二期二十年目を迎えたわけですが、この間全日電工連および北海道電気工業業組合組織のもとに、着実に組織の強化、各種事業の充実、拡大が図られて今日に至って居ります。電気工事二法の改正に伴う、第一種電気工事士資格講習会は、本年八月をもって終了いたしますが、代って建設業法に基づく電気工事施工管理技士の資格取得のための講習会が促進され、加えて二〇〇ホルト配線の普及、高度情報化社会の進展に伴う技術革新等需要家のニーズに対応するための研修会、講習会も推進しなければなりません。又、特に若年労働者を主とした最近の労働力不足は深刻なものが、今後福利厚生、労働環境、賃金体制の充実・確立等いわゆる労務管理の改善に向けて努力しなければならないと考える次第です。

昨年度は組合員皆様の深いご理解とご協力をいただき、待望の組合会館が立派に新築されました。厚くお礼を申し上げるとともに、今後この会館を有効に活用して、各事業に取り組んで参りたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

役員会だより

第一回役員会

二・四・二四

一、慶弔報告

- (1) ツカ電工代表者ご母堂逝去
- (2) 小林電気商会代表者逝去

二、貸付報告

三社 一三〇万円

三、各支部報告並提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催、総代ならびに支部長を選出した。

※ 各支部長全員再選された。

四、総務委員会事項

- (1) 各支部総代について
- (2) 譲渡・譲受による加入申込について
 - ・(尙)ヒカリ電気工事―ヒカリ電気工事
 - ・(尙)水口電気工業所―水口電気工業所
 承認
- (3) 新規加入申込について

申込者四名について全員承認となった。
- (4) 電気保安功労者表彰の推せんについて
- (5) 平成二年度通常総代会の提出議題について
- (6) 平成元年度事業報告のうち、会館改築工事について
- (7) 平成元年度収支決算について
- (8) 損益金処分について
- (9) 平成二年度収支予算案について
- (10) 第八回電気工業業全国大会実施要領について

転貸金利の改訂について

五、技術・教育委員会事項

- (1) 経営近代化研修会について
- (2) 電気設備工事施工監理指針(平成元年版)説明会について
- (3) 平成二年度自家用発電設備専門技術者講習・試験について

第二回役員会

二・五・二五

一、慶弔報告

- (1) 南電設代表者怪我入院見舞
- (2) 北電工事の適正について
- (3) 第三者損害賠償制度事故について
- (4) 『衛生放送受信ハンドブック』『BS受信ノウハウ集』の斡旋について
- (5) 『北電工事の適正について』
- (6) 北電工事の適正について
- (7) 第三者損害賠償制度事故について
- (8) 保守管理業務の拡大について
- (9) 第三者損害賠償制度加入費の組合負担について

二、貸付報告

三社 一三〇万円

三、各支部報告並提案事項

各支部会議を開催、全国大会の周知をした。

四、総務委員会事項

- (1) 会計期末監査報告について
- (2) 定期健康診断、献血について

健康診断受診者 二二三名

献血者 六五名
- (3) 代表者の変更について
 - ・青函電気(株) 平原光祐(旧吉田正巳)
 - ・所屬支部の変更について
 - ・中浜電気 赤川支部(旧北支部)
- (4) 総代会について
- (5) 第八回電気工業業全国大会について
- (6) 事務局職員給与改訂および夏期手当の支給について
- (7) 脱退者持分未払金の支出について
- (8) 平成二年度第二種電気工事士試験(学科)の受験準備講習会の開催について
- (9) 無断工事、不正工事について
- (10) 渡島支庁による電気工業業法に基づく立入検査について

五、技術・教育委員会事項

- (1) 平成二年度第二種電気工事士試験(学科)の受験準備講習会の開催について
- (2) 無断工事、不正工事について
- (3) 渡島支庁による電気工業業法に基づく立入検査について

第三回役員会

二・六・四

一、正副理事長の選出について

- (1) 第三者損害賠償制度について
- (2) 二〇〇ボルト配線普及促進制度について

二、慶弔報告

八社 三四〇万円

三、各支部報告並提案事項

各支部それぞれ支部会議を開催、第八回電気工業業全国大会の参加者を決めた。

四、総務委員会事項

- (1) 事務局職員給与改定および夏期手当の支給報告
- (2) 代表者の変更について
 - ・(尙)ヤマデン 釜田正志(旧若林英昭)
 - ・(尙)ヤマト電気工業所 江端 奨(旧金本静子)
- (3) 道工業組合より旅費の補助について
- (4) 商工中金配当金について
- (5) 未収入消費税の還付について
- (6) 道工業組合より住友団体制度還付金について
- (7) 役員の担当業務について
- (8) 安全大会の開催について
- (9) 第八回電気工業業全国大会参加申込について
- (10) 函館八幡宮例大祭の臨時休業について
- (11) 安全パトロールの実施について
- (12) 譲渡・譲受による加入申込について
 - (尙)七尾電気工業―七尾電気工業所(承認)
- (13) 相統による加入申込みについて

小林電気商会

小林良治―故小林 清(承認)
- (14) 売掛金、未収入金、立替金の早期納入について

五、技術委員会事項

- (1) 平成二年度第二種電気工事士試験(学科)の受験準備講習会の開催について
- (2) 無断工事、不正工事について
- (3) 渡島支庁による電気工業業法に基づく立入検査について

組合行事

- (1) 平成二年度二級電気工事施工管理技術検定試験のための受験準備講習会の案内
 - (2) 第一種電気工事士資格講習会について
 - (3) 「第一種電気工事士資格事業所」看板の斡旋について
 - (4) 北電工事工量の一部改正について
 - (5) 内線工事図面作成時における建築図面の利用に關する苦情について
- 六、事業委員会事項
- (1) 保守管理業務コンクール表彰について
個人の部において、大倉電気㈱が全日電工連米沢会長より表彰された。
 - (2) 安田生命企業年金配当金の還付について
 - (3) 平成二年度電気使用安全月間の実施について
 - (4) 函館港まつり行事への参加について
- 4月3日 定期健康診断、献血の実施
- 4日 受診者―二二二名 献血者―六五五名
- 6日 中小企業団体中央会道南支部会計監査に大倉理事長出席
- 7日 八雲支部総会
- 13日 労働保険年度更新事務取扱
- 16日 正副理事長会議
- 全日 組合青年部役員会
- 17日 道工業組合正副理事長・委員長会議に大倉理事長出席(於札幌市)
- 19日 道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札幌電協)
- 20日 中渡島支部会議
- 23日 青年部総会(於五稜郭三花亭)
- 24日 第一回役員会
- 25日 第二種電気工事士試験推進会議に大倉理事長出席(於北電)
- 5月7日 会計期末監査
- 12日 八雲支部八雲ブロック安全大会、観桜会
- 全日 八雲支部森ブロック観桜会
- 14日 赤川支部会議
- 全日 福島支部会議
- 全日 函館地区団体事務長会運営委員会に坂本事務局長出席(於拓銀ビル)
- 18日 東支部会議
- 全日 西支部会議
- 全日 中渡島支部会議
- 25日 第二回役員会
- 全日 第四十二回通常総代会
- 26日 道工業組合四役会議、役員会に大倉理事長吉田副理事長出席(於札幌電協)
- 29日 テクノポリス記念祝賀会に大倉理事長出席(於ホテル函館ロイヤル)
- 全日 建設省電気設備工事施工監理指針説明会(於組合大会議室)
- 6月2日 青年部役員会
- 全日 函館地区団体事務長会総会に坂本事務局長出席(於大門入川)
- 4日 第三回役員会
- 6日 第二種電気工事士試験(学科)のための特別講習会(於組合会議室)受講者―十二名
- 8日 東支部会議
- 11日 北支部会議
- 7月6日 中支部会議
- 全日 青年部全体会議
- 全日 防災防協会函館支部幹事会・総会に佐々木(三)理事出席(於函館建設会館)
- 10日 第四回役員会
- 11日 青年部役員会
- 12日 函館港まつり行事打合会議に平沼青年部長出席(於函館市会議室)
- 13日 東支部会議
- 17日 西支部会議
- 全日 港まつり実行委員会
- 13日 道工業組合全道事務局長会議に大倉理事長坂本事務局長出席(於定山溪)
- 15日 函館関税会役員会に大倉理事長出席(於函館税務署)
- 全日 北電関連工事業安全衛生協議会総会に細川副理事長、佐々木(三)理事、坂本事務局長出席(於北電)
- 19日 赤川支部会議
- 20日 正副理事長会議
- 21日 道工業組合役員会に大倉理事長、吉田副理事長出席(於札幌電協)
- 23日 函館港まつり打合会議に平沼青年部長出席(於函館市会議室)
- 25日 電気工事業者全国大会ならびに函館港まつりについて資材業者と打合会議
- 26日 電波障害防止協議会に大倉理事長出席(於タワービル)
- 28日 団体事務長会連合会役員会・総会に坂本事務局長出席(於札幌市)
- 全日 第二種電気工事士試験打合会議に大倉理事長出席(於北電)
- 29日 釧根協組創立四十周年記念式典に大倉理事長出席(於釧路市)
- 全日 新加入組合員業務説明会(於組合会議室)

全日 団体事務長会運営委員会に坂本事務局長出席
 18日 北電関連工事安全衛生推進大会に細川副理事長、坂本事務局長出席（於北電）
 全日 北支部会議
 19日 道工業組合役員会に吉田副理事長出席（於札電協）

第42回 通常総代会 開催される

去る五月二十五日、平成二年度の通常総代会が、組合会館大会議室において、総代定数七十八名中七十七名うち委任状出席者十七名が出席して開催された。午後二時、坂本事務局長の開会宣言に次いで、あいさつに立った大倉理事長は

『昨年度は皆さんのご承認を戴き、待望の会館が昨年の末にこのように立派に建てる事が出来ました。皆様のご協力に対して厚くお礼申し上げます。』

昨年度は、電気工事二法の改正により、第一種電気工事士の資格取得講習会を実施、あと五十名余を残すだけで八月までに受講資格の出る人について講習を完了する予定なので、まだ受講申込をしていない人は大至急手続をしていただきたい。

本日、役員の改選があるので、今後のことについては控えさせて貰うが、昨年は非常に忙しい年であったと思います。ただ、儲けになったかどうかは判りません。現在もその余波は続いて居りますが、逆に人手不足とか労務面で工程がスムーズにいかないといったようなひびみがかんだん露骨に出て参りました。私達の組合はもろろん、全国的にこの面の解決を図らなければならぬ時代を迎えて居ります。

先づ第一に、中学校、高校あるいは大学の新卒者がすんで就職してくるような魅力ある環境づくりをし

20日 中渡島支部会議
 全日 赤川支部会議
 27日 第二種電気工事士試験（実技）準備講習会
 受講者二〇名
 26日 港まつり実行委員会

なければなりません。すぐ出来るかどうかは別として週休二日制とか、あるいは現在確実に毎週休めるとか



脱退者名簿

- 一、川又電気商会（代表者 川又邦司） 福島支部
- 一、山本電気商会（代表者 山本昭二） 北支部
- 一、巴電気工業所（代表者 田仲時善） 中渡島支部

第一号議案、平成元年度事業報告及び財務報告承認の件は、組合会館改築事業について質問がなされたが、損益金処分案を含めて承認された。
 第二号議案、平成二年度事業計画案及び収支予算案の承認を求める件は質問もなく承認された。
 第三号議案、任期満了に伴う役員の改選については、恒例により各支部一名の選挙管理委員を選出して選挙により理事十五名、続いて監事三名を選出した。新任は、理事で光生電気商会（八雲支部）、監事で日興電気（中支部）の二名であった。
 以上第一号議案から第三号議案について審議を終了、全て可決し午後五時に閉会した。

いったことを建築関連の皆さんと相談しながら、そういう方向にすすみたいと思います。
 とに角、組合のこれからの課題は労務面にあると思います。
 電気工事業はとんとん進歩しています。この新しい会館を利用して、新しい制度、新しい技術の講習会等事業の拡大を図りたい。
 と述べた。
 次に正副議長の選出では、事務局一任との声で、議長に林一夫氏（日興電気）副議長に伊東研一氏（ユタカ電機）を指名推選して選出、議事の審議に入った。

新役員紹介



副理事長
佐藤 征次
昭和十三年九月生
佐藤電気工事株式会社
代表取締役



副理事長
吉田 要
昭和三年八月生
函館拓北電業株式会社
代表取締役



副理事長(西支部長)
細川 政明
大正六年一月生
日本電機保全株式会社
代表取締役



理事長
大倉 伸夫
昭和三年五月生
大倉電気株式会社
代表取締役



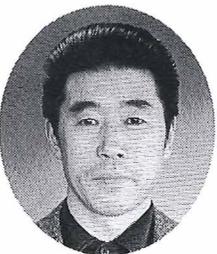
理事(八雲支部長)
後藤 又蔵
昭和四年九月生
有限会社後藤電機商会
代表取締役



理事
西岡 大成
昭和二年十二月生
有限会社西岡電気
代表取締役



理事(中渡島支部長)
佐々木 三男
大正十四年三月生
有限会社
佐々木電気工業所
代表取締役



理事(東支部長)
佐々木 清作
昭和五年二月生
佐々木電気商会
代表



理事
平沼 智子
大正九年五月生
樺電工業株式会社
代表取締役会長



理事(中支部長)
酒井 好一
昭和十一年五月生
三立電気株式会社
代表取締役



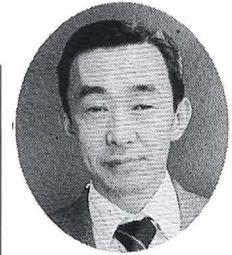
理事(福島支部長)
谷 良一
昭和四年八月生
谷電気商会
代表



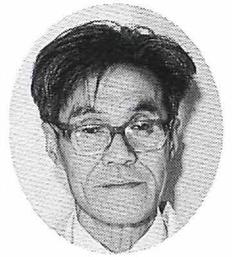
理事(赤川支部長)
大鎌 哲雄
昭和三年十月生
大鎌電気株式会社
代表取締役専務



理事(江差支部長)
上戸 優
昭和七年七月生
株式会社檜山電気工業
代表取締役



理事(北支部長)
加賀 秀雄
昭和六年八月生
加賀電気株式会社
代表取締役



理事
鈴木勝弥
昭和八年一月生
光生電気商会
代表



監事
香田稲生
大正八年十一月生
香田電気工事店
代表



監事
佐藤悌史
昭和五年二月生
藤電気工事株式会社
代表取締役



監事
林 一夫
昭和三年二月生
日興電気株式会社
代表取締役



役員担当業務

去る五月二十五日開催の総代会で選出された理事十五名の担当業務が、次のとおり決まりました。
なお、各委員会の業務により、理事以外の皆さまにも、いろいろとご協力をいただかなければなりませんので、その機にはよろしくお願いします。

一、総務委員会

- 委員長 吉田副理事長
- 委員 平沼、佐々木(調)、佐々木(三)各理事

一、技術委員会

- 委員長 佐藤副理事長
- 委員 大鎌、酒井、谷、上戸各理事

一、事業委員会

- 委員長 細川副理事長
- 委員 西岡、加賀、後藤、鈴木各理事

◎ 金融委員会

- 委員長 細川副理事長
- 委員 平沼、佐々木(調)理事

◎ いなづま編集委員会

- 委員長 吉田副理事長
- 委員 平沼、大鎌理事

◎ 港まつり委員会

- 委員長 佐藤副理事長
- 委員 佐々木(調)、加賀、大鎌、酒井各理事

組合員の異動

―組織・代表者・住所の変更―

(新)

- 一、(函)中浜電気(赤川支部) 中浜電気
函館市山の手2丁目 函館市亀田本町43-15

15-1

電話 32-6033

(旧)

- 一、(函)ヤマデン(赤川支部)
代表取締役 釜田正志 代表取締役 若林英昭
- 一、(函)七尾電気工業(中渡島支部) 七尾電気工業所
- 一、(函)ヤマト電気工業所(八雲支部)
代表取締役 江端 奨 代表取締役 金本静子
- 一、(函)蛭名電気(江差支部)
代表取締役 蛭名勝行 代表取締役 蛭名勝幸
- 一、佐昭電気(赤川支部)
函館市美原5丁目43-11 函館市美原4丁目21-3
- 一、(函)里見電気工事(中渡島支部) 里見電気工事
- 一、(函)ホーム電業社(赤川支部) ホーム電業社

組合員の消息

- 一、四月中旬 南電設代表者南公一殿怪我入院
- 一、七月上旬 理事長大倉伸夫殿病氣入院

- 一、六月五日 マサミ電工代表者佐々木政春殿ご母堂佐々木まさ殿ご逝去
- 一、七月七日 函館北辰電気(株)代表取締役会長鷲見幸一殿ご逝去
- 一、八月二日 (株)谷電気工業所前代表取締役谷義一殿ご逝去

電気保安功労者の表彰

◎ 北海道通商産業局長賞

(営業所の部)

大倉電気㈱

大倉 伸 夫氏



◎ 北海道通商産業局長賞

(営業所の部)

大鎌電気㈱

大鎌 政 雄氏



◎ 北海道電気安全委員長賞

(営業所の部)

㈱西岡電気

西岡 大 成氏



平成二年度の電気保安功労者として、去る八月十日札幌市の共済ビルで開催された電気安全大会においてそれぞれ表彰されました。

これは、電気安全について永年に亘り保守保安の運営並びに教育が充分に行なわれて居り、他の模範として認められたもので、普段の努力と功績の賜とお慶び申し上げます。

新加入組合員の紹介

平成二年度新加入の四名の方をご紹介します。

(加入年月日＝平成二年四月一日)

北 幸 電 工

佐 藤 幸 弘

昭和二八年一月二九日生

久遠郡大成町字長磯二二九
電話 (〇三六) 二一三五四六



㈱手塚電気を経て、昭和六〇年一月独立開業

澤 谷 電 工

澤 谷 鉄 矢

昭和二六年三月七日生

函館市港町一丁目一八―四五
電話 四二―三二八九



川又電気商会、㈱繁田電工、日東電気工事㈱を経て平成元年一月独立開業

外 山 電 工

外 山 彰

昭和二六年三月一日日生

函館市松川町三一―一五

電話 四二―六三二五



㈱電気、大鎌電気㈱を経て、昭和五七年独立開業

㈱エム・アーク

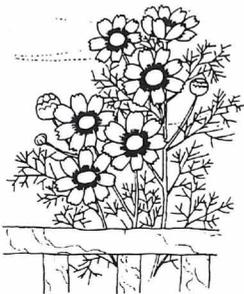
若 林 三 喜 男

昭和二一年二月二八日生

函館市本通三丁目二九―一七
電話 五六一八〇三四



㈱北海電業、㈱山電気工業を経て、昭和六二年七月独立開業





石 セキ

敢 カン

当 トウ

平沼留子

去る三月沖繩に行った。過去二回訪れた沖繩では気が付かなかった事なのだが、今回は気持に余裕があったのか意外にいろんなものが目についた。その一つがこの『石敢当』である。

土地の人に聞いたなら「家をけとばされたり、悪鬼が家の中に入らない為だ」とのこと、丈地上に出ているだけで約一メートル、中十センチ位の石柱で『石敢当』と彫っており、必ず道路の曲り角にあり突きあたりの位置に建っている。過去二回は不思議に一度も目につかなかった。帰宅して調べて見たらなかなか面白い事が辞典に載っている。

中国で始まった魔除けの石柱。道路の突きあたりや橋のたもとに設置され、家につかるもろもろの邪鬼をくい止め、これを追い払う威力を持つと信じられている。これに関する最初の文献は漢の元帝の時代（紀元前四十年）ころから始まったらしく、石敢当とは「向かうところ敵なし、石あえて当る」との意味であるといひ、岩石の持つ堅固な性質からこの信仰が生まれたものらしい。『魯班経』という本の中に、力士（日本）のすもう取りと違い武勇のすぐれた人）の名前だと書いてある由、日本でもこれと似たような風習があり、『為朝のお宿』と書いた張紙を門口にかかけて置くと、『疔瘡』よけのまじないになるといふ。為朝といふ人は源平合戦の話に出てくる強弓を引く武士で、この為朝が吾が家に宿っていると表示すると、ほうそうがつかないといふ民間信仰である。私は伊勢神宮に参拝した折に、あのあたりの民家の

裏口に赤い紙に墨書で『蘇民将来子孫』と書いたのははってあるのを見たことがある。これも『為朝のお宿』と同じく『蘇民の子孫の家である』と表示して、疫病の侵入を防いだ民間信仰である。

『石敢当』はまじないばかりでなく必ず石に彫られている事から、あくまでも岩石の持つ超自然力を基としていた事を示している。昔は自然は神と同じであったから、非力の人間にとって岩石は信仰の対象だったのだろう。御神体が山というのと同じ思想だったのだと思う。

中国には至る処に発見されているとの事だが、三回の訪中一回も見なかったが田舎に残っている風習なのかも知れない。台湾も同じであるという。江戸時代遠く秋田地方にもあった習俗だというが、九州地方特に鹿児島県下では現在でもかなり残っているという。南西諸島には現在でもこの信仰は根強いというから、沖縄にあるのは当然のことだろう。

『魯班経』によると石敢当の大きさは、高さ四尺八寸（くじら尺ではないだろうか）巾一尺二寸、厚さ四寸で八寸を土中に埋め、碑面の上部に虎の頭を彫り『泰山石敢当』と彫る。そしてこれを建てるに日と時刻を選ぶとかなかなか面倒な規則があると書いてある由、多分これが現在の石敢当の原型なのだろう。私の見たのは文字だけが博物館に行ったら虎の頭を彫ったものや、時には獅子が七星剣をくわえているのが見られるかもしれない。

**電気設備工事
施工監理指針**
(平成元年版)説明会

主催 (財)宮繕協会

後援 建設省、北海道開発局、北海道、函館市

協賛 (財)北海道電業協会、北海道電気工業業工業組合、

(財)日本設備設計家協会北海道支部、北海道設備

設計事務所協会、(財)建築設備技術者協会北海道

支部

工事共通仕様書（平成元年版）の改定、関連法規や JIS その他の規格の改正、最近の施工技術の高度化に対応して、建設大臣官房庁宮繕部監修による電気設備工事施工監理指針の改訂が行なわれ、その内容を十分理解し、工事共通仕様書等の建設省制定の基準額により発注される工事の適正な工事監理と品質確保を図るため、去る五月二十九日組合会議室において説明会を開催した。

定刻の午前九時三十分、大倉理事長のあいさつに続いて、講師の北海道開発局宮繕部設備課の神山利郎課長補佐があいさつした後、改訂要旨ならびに第一編『一般共通事項』、第二編『電力設備』について説明、昼食をはさんで第三編『受変電設備』、第四編『自家発電設備』について高井真一電気第一係長が説明、第五編『通信、情報設備』、第六編『構内交換設備』、第七編『中央監視設備』について工務検査課の金沢誠司宮繕監督官が説明、出席した七十八名の受講者は熱心にメモをとり、午後四時説明会を終了した。

北海道電力(株)函館支店管内組合関連組織図(平成2.8.1)

(函館支店)
支店長 黒田 正夫



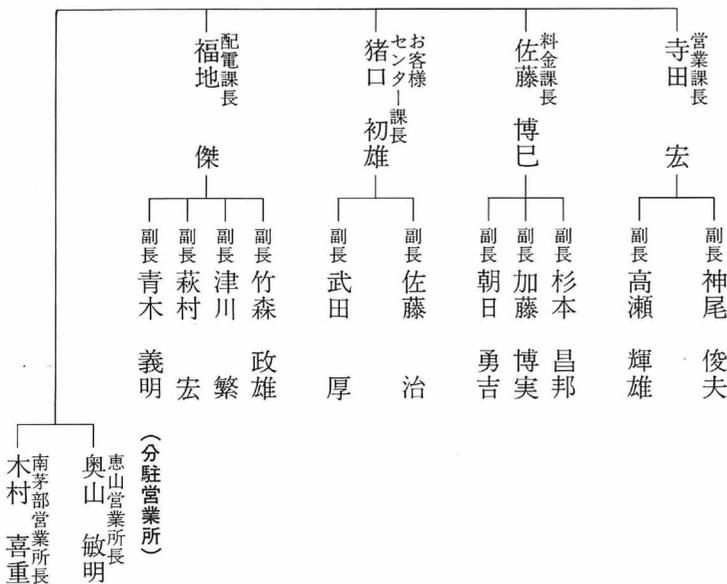
(拠点営業所)

函館営業所長
平尾 康二



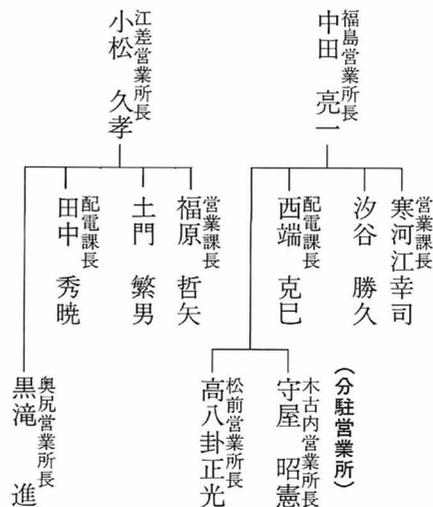
次
高木 宏幸

次長(技術) 大友 明
次長(事務) 竹内 正
総務課長 河西 進
立地環境課長 夏井 孝
労務課長 岡山 克彦
経理課長 飯塚 好徳
建築サービスマスター所長 佐々木 順一
七建ターボ所長 廣橋 隆史
函館電力所長 奥山 理一郎
" 次長



(衛星営業所)

八雲営業所長 新谷 宏
副所長 萩野 久夫
北檜山営業所長 仲村 栄蔵
副所長 大浅 修孝
森営業所長 菊地 幹郎
副所長 工藤 正司



(電業所)

◎函館営業所管内 七飯電業所 職員 金田 光照
 ◎八雲営業所管内 上磯 職員 本多 一治
 ◎北檜山営業所管内 大野 職員 渡辺 松義
 ◎北檜山営業所管内 長万部 職員 小野 庫四郎
 ◎福島営業所管内 瀬棚 職員 小野 庫四郎
 ◎福島営業所管内 今金 職員 小野 庫四郎
 ◎江差営業所管内 知内 職員 小野 庫四郎
 ◎江差営業所管内 上ノ国 職員 小野 庫四郎
 ◎江差営業所管内 厚沢部 職員 有田 仁三郎
 ◎江差営業所管内 乙部 職員 有田 仁三郎
 ◎江差営業所管内 熊石 職員 有田 仁三郎
 ◎江差営業所管内 大成 職員 有田 仁三郎

◎註―森営業所管内はなし

時代の変化にこたえる感性
綜合販社

東芝E&S北海道株式会社

函館支店

040 函館市大繩町二十二番十四号
電話 四一—二二四一

吟味する

松下電工株式会社

函館出張所

函館市西桔梗町五八九番地一〇七
電話 函館 四九—一五二五

工事材料・電化製品

丸晃電気株式会社

函館市西桔梗町五八九—四九
電話 四九—一三一三

電気設備機器資材の綜合卸商社

大興電機株式会社

本社 函館市西桔梗町五八九—一〇七
電話 (代) 四九—一六二二 一番
営業所 山越郡八雲町内浦町一〇七
電話 (0157) 三一三三 六九番

電設資材・機電綜合卸

進和電機株式会社

040 函館市松川町三四—一三三
電話 四二—一六二三—一

明日をひらく電設資材の綜合卸商社

株式会社 工三ヤ商会

函館営業所

函館市富岡町二丁目四—一七
電話 四三—三〇—(代表)
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧

電気工事材料
音響通信機器
綜合商社

石垣電材株式会社

函館営業所

本社 060 札幌市中央区北六条西二丁目二番地
支店 063 苫小牧市新中野町一丁目二番二号
函館営業所 040 函館市中央四丁目三番二号
支店 040 函館市中島町六番一五号
電話 (0157) 五五—四二二番代

松下電工(株)代理店
日立電線(株)特約店

北進商事株式会社

函館市市場町十九番二十二号
電話 五五—二二〇—五
FAX 五五—一三七—四一